



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 第一三共株式会社

コード番号 4568 URL <http://www.daiichisankyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 譲治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 石田 憲昭

TEL 03-6225-1125

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	838,168	4.1	110,276	4.7	106,924	14.2	99,402	48.5	102,233	43.1	169,063	33.6
26年3月期第3四半期	805,532	—	105,286	—	93,665	—	66,958	—	71,436	—	126,533	—

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	145.22	144.92
26年3月期第3四半期	101.48	101.29

なお、連結数値からランバクシーグループを除いた第一三共グループのみの経営成績は、売上収益が26年3月期第3四半期累計 673,839百万円に対し27年3月期第3四半期累計が694,397万円(3.1%増)、営業利益が 104,148百万円に対し 98,276百万円(5.6%減)、税引前利益が 107,432百万円に対し 105,767百万円(1.5%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益が 77,132百万円に対し 67,786百万円(12.1%減)となっております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	1,964,397	1,134,903	1,106,896	56.3	1,572.25
26年3月期	1,854,037	1,007,527	979,933	52.9	1,392.03

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
27年3月期	—	30.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	900,000	△19.5	100,000	△10.4	100,000	0.2	65,000	6.7	92.33	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)平成27年3月期通期業績予想は、第一三共グループのみの見通しを記載しております。

なお、サン・ファーマによるランバクシーの吸収合併完了後、ランバクシーグループの最終損益、並びにランバクシー株式会社とサン・ファーマ株式の交換に伴う損益等は非継続事業に係る損益として計上される予定です。

また、第一三共グループのみの前期数値と比較した場合、売上収益は前期実績 899,126百万円に対して0.1%増、営業利益は前期実績 112,885百万円に対して11.4%減、税引前利益は前期実績 112,914百万円に対して11.4%減、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期実績 68,832百万円に対して5.6%減となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注)詳細は、13ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	709,011,343 株	26年3月期	709,011,343 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	4,990,333 株	26年3月期	5,051,576 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	703,976,762 株	26年3月期3Q	703,956,705 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、要約四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、12ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
【連結業績】	2
【セグメント報告】	5
【研究開発活動】	10
【日本における事業運営体制の最適化】	11
(2) 財政状態に関する説明	12
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	12
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	13
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	13
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	13
3. 要約四半期連結財務諸表	14
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	14
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	16
要約四半期連結損益計算書	16
要約四半期連結包括利益計算書	17
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	18
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	19
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	20
(継続企業の前提に関する注記)	20
(セグメント情報等)	20

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2014年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用しております。

(1) 経営成績に関する説明

【連結業績】

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
売上収益	805,532	838,168	32,635 4.1%
営業利益	105,286	110,276	4,990 4.7%
税引前四半期利益	93,665	106,924	13,259 14.2%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	71,436	102,233	30,796 43.1%

なお、第一三共グループの業績は以下のとおりであります。

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
売上収益	673,839	694,397	20,557 3.1%
営業利益	104,148	98,276	△5,871 △5.6%
税引前四半期利益	107,432	105,767	△1,664 △1.5%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	77,132	67,786	△9,346 △12.1%

<グローバル主力品売上収益>

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

品 目	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
オルメサルタン 高血圧症治療剤	227,918	219,927	△7,990 △3.5%
プラスグレル 抗血小板剤	16,858	18,380	1,522 9.0%

<研究開発費>

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計
研究開発費	137,074	142,176
対売上収益比率	17.0%	17.0%

<主要通貨の日本円への換算レート(期中平均レート)>

	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計
1米ドル/円	99.39	106.88
1ユーロ/円	132.24	140.31
1インドルピー/円	1.69	1.77

① 売上収益

当第3四半期連結累計期間(2014年4月1日～2014年12月31日)の売上収益は、326億円増収の8,382億円(前年同期比4.1%増)となりました。

日本において薬価改定や消費税率改定、ジェネリック医薬品の処方拡大による影響等があったものの、主力品が伸長したこと、並びにアジア・中南米地域やランバクシーグループの伸長、及び為替の寄与等により、増収となりました。

② 営業利益

営業利益は、50億円増益の1,103億円(前年同期比4.7%増)となりました。

国内事業再編に伴う経費増があったものの、売上総利益の増加やランバクシーグループの寄与等により、増益となりました。

③ 税引前四半期利益

税引前四半期利益は、133億円増益の1,069億円(前年同期比14.2%増)となりました。

営業利益の増加に加え、金融収益の増加等により、増益となりました。

④ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、308億円増益の1,022億円(前年同期比43.1%増)となりました。

税引前利益の増加に加え、過年度におけるランバクシーののれん減損に係る税効果計上等により、大幅な増益となりました。

【セグメント報告】

① 第一三共グループ セグメント

売上収益は、204億円増収の6,931億円（前年同期比3.0%増）となりました。

営業利益は、59億円減益の983億円（連結調整前、前年同期比5.6%減）となりました。

a. 日本

日本の売上収益は、4,199億円（前年同期比0.6%増）となりました。

国内医薬では、薬価改定や消費税率改定、ジェネリック医薬品の処方拡大による影響等があったものの、ネキシウム、メマリー、イナビル、プラリア等が伸長し、売上収益は3,652億円（前年同期比0.6%増）となりました。

輸出医薬の売上収益は、156億円（前年同期比6.9%増）となりました。

ヘルスケア（第一三共ヘルスケア株式会社）の売上収益は、前年同期とほぼ同額の370億円となりました。

なお、2011年より下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制の効能で販売している抗凝固剤リクシアナについては、2014年9月26日に非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制、並びに静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制の両効能を追加取得し、60mg錠を12月8日に新発売しました。

<日本の売上構成>

（単位：億円。億円未満四捨五入）

区 分	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
国 内 医 薬	3,631	3,652	21 0.6%
輸 出 医 薬	146	156	10 6.9%
へ ル ス ケ ア	370	370	△0 △0.0%

＜日本カンパニー主力品売上収益＞

(単位：億円。億円未満四捨五入)

製品名	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
オルメテック 高血圧症治療剤	604	584	△20 △3.4%
ネキシウム 抗潰瘍剤	402	557	155 38.7%
ロキソニン 消炎鎮痛剤 (うちロキソニンテープ)	468 (280)	387 (243)	△82 △17.4%
メマリー アルツハイマー型 認知症治療剤	239	275	37 15.3%
クラビット 合成抗菌剤	259	230	△29 △11.1%
レザルタス 高血圧症治療剤	141	141	△1 △0.6%
アーチスト 高血圧・狭心症・ 慢性心不全治療剤	171	141	△30 △17.4%
オムニパーク 造影剤	155	133	△22 △14.2%
メバロチン 高コレステロール 血症治療剤	170	126	△44 △26.1%
イナビル 抗インフルエンザウイルス剤	20	82	61 302.2%
ランマーク 癌骨転移治療剤	58	76	18 30.5%
プラリア 骨粗鬆症治療剤	17	51	34 201.9%

b. 北米

北米の売上収益は、1,681億円（前年同期比6.0%増）となりました。

現地通貨ベースでは、15億7千3百万米ドル（前年同期比1.5%減）となりました。

ヴェノファー、インジェクタファーが増収となりましたが、ベニカー／ベニカーHCTが競合激化の影響を受け、減収となりました。

なお、第一三共Inc.は、主力品のプロモーション活動の一環として行った医師講演施策に関し、米国司法省より調査を受け、同省及びその他政府機関との間で和解に至り、約39百万米ドルの和解金を支払うこととなりました。

当社グループは、世界各国において今後とも一層厳しく法令順守の徹底に努めてまいります。

<第一三共Inc. 主力品売上収益>

(単位：百万米ドル。百万米ドル未満四捨五入)

製品名	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
ベニカー／ ベニカーHCT 高血圧症治療剤	660	514	△145 △22.0%
エイゾール 高血圧症治療剤	129	125	△3 △2.6%
トライベンゾール 高血圧症治療剤	71	80	9 12.2%
ウェルコール 高コレステロール血症治療剤・ 2型糖尿病治療剤	329	329	0 0.0%
エフィエント 抗血小板剤 (共同販促収入)	115	123	8 6.6%

<ルイトポルド・ファーマシューティカルズInc. 主力品売上収益>

(単位：百万米ドル。百万米ドル未満四捨五入)

製品名	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
ヴェノファー 貧血治療剤	182	213	31 17.1%
インジェクタファー 貧血治療剤	6	48	42 749.3%

c. 欧州

欧州の売上収益は、606億円（前年同期比1.2%増）となりました。

現地通貨ベースでは、4億3千2百万ユーロ（前年同期比4.7%減）となりました。

セビカー、セビカーHCTが増収となりましたが、オルメテック／オルメテックプラスが減収となりました。

<第一三共ヨーロッパGmbH主力品売上収益>

（単位：百万ユーロ。百万ユーロ未満四捨五入）

製品名	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
オルメテック／ オルメテックプラス 高血圧症治療剤	258	207	△51 △19.7%
セビカー 高血圧症治療剤	76	96	20 26.6%
セビカーHCT 高血圧症治療剤	43	55	11 26.4%

d. その他の地域

その他の地域の売上収益は、445億円（前年同期比20.8%増）となりました。

中国、ブラジル等においてオルメサルタン、クラビット等主力品が伸長しました。

② ランバクシーグループセグメント

売上収益は、122億円増収の1,451億円（前年同期比9.2%増）となりました。

営業利益は、129億円増益の143億円（連結調整前、前年同期比943.3%増）となりました。

高血圧症治療剤バルサルタン後発品が増収増益に貢献しました。

当社は、2014年4月6日に、サン・ファーマシューティカル・インダストリーズ Ltd.（以下「サン・ファーマ」）がランバクシーを吸収合併し、その対価として当社がサン・ファーマの株式を受領するという契約を締結しました。

既に、ランバクシー及びサン・ファーマそれぞれの株主総会で本合併が承認され、行政当局の承認を得ましたので、高等裁判所の承認を得られ次第、2014年度末までには手続が完了することを見込んでおります。

当社は本合併完了時にサン・ファーマの株式を約9%保有することとなります。

【研究開発活動】

当社は、競争力のある研究開発パイプラインを充実し、革新的医薬品の迅速かつ継続的な創出に向けた取り組みを推進しており、重点領域を循環代謝領域・癌領域・フロンティア領域と定め、ベストインクラス・ファーストインクラス品目の創出に注力しております。

また、ベンチャースピリットをグループ内に醸成させる取り組みとして、子会社のアスピオファーマ株式会社、U3ファーマGmbH、プレキシコンInc.のさらなる活用に加え、2013年4月にベンチャーサイエンスラボラトリーを設立し、その強化を進めております。

さらに、他社との提携やオープンイノベーションの拡充、バイオ医薬品事業への本格参入に向けた研究開発の強化も推進しております。

① プラスグレル

日本においては、2014年5月27日に経皮的冠動脈形成術を伴う虚血性心疾患の適応で発売しました（製品名：エフィエント）。引き続き、虚血性脳血管障害患者を対象とした第3相臨床試験を推進しております。

また、米国において小児鎌状赤血球症患者を対象とした第3相臨床試験を推進しております。

② エドキサバン

日本では、2011年より下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制の効能で製品名リクシアナとして販売しておりますが、2014年9月26日に非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制、並びに静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制の両効能を追加取得しました。

米国では、2015年1月8日に非弁膜症性心房細動患者における脳卒中及び全身性塞栓症のリスク低減及び静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺塞栓症）の治療の両適応症で承認を取得しました。なお、非弁膜症性心房細動患者に関しては、腎機能の指標であるクレアチニンクリアランスの数値が95mL/minを超える患者には投与しないという承認内容になっております。

第一三共Inc.が、2015年2月上旬より営業活動を開始する予定です。

欧州では、2014年1月に承認申請を行っており、薬事当局の審査が続いております。

③ デノスマブ

デノスマブは、骨代謝に関わる抗体医薬品であり、米国アムジェン社から日本における開発・販売権を取得しております。2012年4月にランマークの製品名で多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変の適応症で発売し、2013年6月にブラリアの製品名で骨粗鬆症治療剤として発売しました。

また、2014年5月23日に骨巨細胞腫に関する承認事項一部変更承認を取得しました。

さらに、乳癌術後補助療法を対象としたグローバル第3相臨床試験、関節リウマチ患者を対象とした国内第3相臨床試験を推進しております。

④ ミロガバリン

ミロガバリンは、米欧で線維筋痛症患者を対象とした第3相臨床試験を推進しております。

また、日本・アジアでは、糖尿病性末梢神経障害性疼痛患者及び帯状疱疹後神経痛患者を対象とした第3相臨床試験を開始しました。

⑤ 提携及び買収による成果

2014年8月7日、米国チャールストン社から、制吐剤配合の麻薬性鎮痛剤CL-108を導入し、第3相臨床試験を推進しております。

また、2014年11月に米国アンビット・バイオサイエンシズCorp.の買収が完了しました。現在、同社が保有するFLT3チロシンキナーゼ阻害剤キザルチニブについて、急性骨髄性白血病患者を対象とした第3相臨床試験を推進しております。

さらに、2014年11月にベルギーUCB社との間で、同社が開発するてんかん治療剤ラコサミドを日本において共同で商業化する契約を締結しました。同剤の開発・承認申請・製造は同社が担い、販売・流通は当社が担当することとなります。

【日本における事業運営体制の最適化】

当社は、持続的成長のための継続的な投資を可能にすべく、収益性を改善して経営基盤を強化すること、自立的な事業運営をさらに強化すること、組織の簡素化や業務の効率化を通じて低コスト体質への変換を図ることなどを目的として、日本における事業運営体制の最適化に着手しました。

国内グループ各社の組織体制と要員配置を見直し、これに伴い2014年12月に実施した転進支援制度特別措置に計513名の社員が応募しました。今回の施策による人事関連費用等137億円を当第3四半期に計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における資本合計は1兆1,349億円（前期末比1,274億円増加）、資産合計は1兆9,644億円（前期末比1,104億円増加）、親会社所有者帰属持分比率は56.3%（前期末52.9%）となりました。資本合計は、四半期利益の計上及び在外営業活動体の換算差額の増加等により、前期末と比べて大きく増加しました。資産合計は、社債及び借入金の返済等により、資本合計と比較して増加額は小さくなっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2014年10月31日に公表した2015年3月期連結業績予想から変更はありません。

なお、サン・ファーマによるランバクシーの吸収合併完了後、ランバクシーグループの最終損益、並びにランバクシー株式とサン・ファーマ株式の交換に伴う損益等は非継続事業に係る損益として計上される予定ですが、その詳細につきましては確定した段階でお知らせします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(IFRSにより要求される会計方針の変更)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除いて、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、当連結会計年度より、次の基準書及び解釈指針をそれぞれの経過措置に準拠して適用しております。これらの基準書等の適用が、要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

基準書及び解釈指針		新設、改訂の概要
IAS第32号	金融商品：表示	相殺表示の要件の明確化及び適用指針の追加
IFRS第10号	連結財務諸表	投資企業に関する定義の公表、投資企業が保有する投資に係る会計処理の設定
IFRS第12号	他の企業への関与の開示	
IAS第27号	個別財務諸表	
IFRIC第21号	賦課金	賦課金に係る会計処理の明確化
IAS第36号	資産の減損	非金融資産の回収可能価額の開示に係る規定の改訂
IAS第39号	金融商品：認識及び測定	ヘッジ会計中止規定に対する例外規定の設定

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	183,070	227,036
営業債権及びその他の債権	269,194	327,067
その他の金融資産	324,160	187,769
棚卸資産	189,408	194,044
その他の流動資産	24,769	16,952
流動資産合計	990,603	952,870
非流動資産		
有形固定資産	316,304	330,287
のれん	85,518	112,115
無形資産	171,417	236,702
持分法で会計処理されている投資	2,624	2,102
その他の金融資産	141,553	157,281
繰延税金資産	122,550	148,645
その他の非流動資産	23,464	24,392
非流動資産合計	863,433	1,011,526
資産合計	1,854,037	1,964,397

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年12月31日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	245,422	266,656
社債及び借入金	160,326	124,655
その他の金融負債	15,115	11,755
未払法人所得税	5,636	7,225
引当金	22,702	28,705
その他の流動負債	11,985	21,393
流動負債合計	461,188	460,392
非流動負債		
社債及び借入金	263,289	224,624
その他の金融負債	14,177	8,658
退職給付に係る負債	8,947	9,213
引当金	3,747	3,771
繰延税金負債	39,838	60,653
その他の非流動負債	55,320	62,178
非流動負債合計	385,321	369,101
負債合計	846,509	829,494
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	105,267	105,267
自己株式	△14,408	△14,223
その他の資本の構成要素	121,753	188,812
利益剰余金	717,320	777,040
親会社の所有者に帰属する持分合計	979,933	1,106,896
非支配持分		
非支配持分	27,594	28,006
資本合計	1,007,527	1,134,903
負債及び資本合計	1,854,037	1,964,397

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
売上収益	805,532	838,168
売上原価	276,510	291,621
売上総利益	529,021	546,546
販売費及び一般管理費	286,661	294,093
研究開発費	137,074	142,176
営業利益	105,286	110,276
金融収益	9,518	17,932
金融費用	20,767	20,254
持分法による投資損失	371	1,029
税引前四半期利益	93,665	106,924
法人所得税費用	26,706	7,522
四半期利益	66,958	99,402
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	71,436	102,233
非支配持分	△4,477	△2,831
四半期利益	66,958	99,402
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	101.48	145.22
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	101.29	144.92

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
四半期利益	66,958	99,402
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	10,278	10,999
確定給付制度に係る再測定額	△212	△105
その後純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	49,347	58,714
キャッシュ・フロー・ヘッジ	160	—
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	0	53
税引後その他の包括利益	59,574	69,661
四半期包括利益	126,533	169,063
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	128,437	169,033
非支配持分	△1,904	30
四半期包括利益	126,533	169,063

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	その他の 包括利益を通 じて公正価値 で測定する 金融資産
2013年4月1日 残高	50,000	105,194	△14,460	1,504	40,545	959	42,057
四半期利益	-	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	46,828	101	10,283
四半期包括利益	-	-	-	-	46,828	101	10,283
自己株式の取得	-	-	△24	-	-	-	-
自己株式の処分	-	-	69	△46	-	-	-
株式に基づく報酬取引	-	-	-	231	-	-	-
配当金	-	-	-	-	-	-	-
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	-	-	-	-	-	-	△10,210
その他の増減	-	73	-	-	0	△0	△0
所有者との取引額等合計	-	73	44	184	0	△0	△10,210
2013年12月31日 残高	50,000	105,267	△14,415	1,689	87,374	1,060	42,131
2014年4月1日 残高	50,000	105,267	△14,408	1,680	80,252	-	39,821
四半期利益	-	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	55,915	-	10,989
四半期包括利益	-	-	-	-	55,915	-	10,989
自己株式の取得	-	-	△17	-	-	-	-
自己株式の処分	-	-	202	△98	-	-	-
株式に基づく報酬取引	-	-	-	197	-	-	-
配当金	-	-	-	-	-	-	-
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	-	-	-	-	-	-	66
その他の増減	-	-	-	-	△12	-	△0
所有者との取引額等合計	-	-	184	98	△12	-	66
2014年12月31日 残高	50,000	105,267	△14,223	1,778	136,155	-	50,878

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
	確定給付制度 に係る再測定	その他の資本 の構成要素 合計	利益剰余金			
2013年4月1日 残高	-	85,067	680,844	906,645	31,835	938,480
四半期利益	-	-	71,436	71,436	△4,477	66,958
その他の包括利益	△212	57,000	-	57,000	2,573	59,574
四半期包括利益	△212	57,000	71,436	128,437	△1,904	126,533
自己株式の取得	-	-	-	△24	-	△24
自己株式の処分	-	△46	△22	0	-	0
株式に基づく報酬取引	-	231	-	231	415	646
配当金	-	-	△42,237	△42,237	-	△42,237
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	212	△9,997	9,997	-	-	-
その他の増減	-	0	-	73	△346	△272
所有者との取引額等合計	212	△9,812	△32,261	△41,956	68	△41,887
2013年12月31日 残高	-	132,255	720,019	993,126	29,999	1,023,126
2014年4月1日 残高	-	121,753	717,320	979,933	27,594	1,007,527
四半期利益	-	-	102,233	102,233	△2,831	99,402
その他の包括利益	△105	66,800	-	66,800	2,861	69,661
四半期包括利益	△105	66,800	102,233	169,033	30	169,063
自己株式の取得	-	-	-	△17	-	△17
自己株式の処分	-	△98	△102	0	-	0
株式に基づく報酬取引	-	197	-	197	208	405
配当金	-	-	△42,238	△42,238	-	△42,238
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	105	172	△172	-	-	-
その他の増減	-	△12	-	△12	173	161
所有者との取引額等合計	105	258	△42,513	△42,070	382	△41,688
2014年12月31日 残高	-	188,812	777,040	1,106,896	28,006	1,134,903

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	93,665	106,924
減価償却費及び償却費	36,040	39,393
減損損失	3,108	222
金融収益	△9,518	△17,932
金融費用	20,767	20,254
持分法による投資損益(△は益)	371	1,029
固定資産除売却損益(△は益)	△13,742	△1,712
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△17,261	△36,929
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,450	8,998
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△19,511	△1,768
その他	3,997	2,224
小計	88,465	120,704
利息及び配当金の受取額	5,269	3,517
利息の支払額	△6,222	△9,587
和解費用の支払額	△49,764	—
法人所得税の支払額	△46,641	△18,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,894	96,428
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△123,083	△44,062
定期預金の払戻による収入	82,237	53,628
投資の取得による支出	△293,510	△196,887
投資の売却による収入	261,283	338,546
有形固定資産の取得による支出	△34,983	△29,149
有形固定資産の売却による収入	11,938	190
無形資産の取得による支出	△5,418	△33,628
子会社の取得による支出	—	△33,476
貸付けによる支出	△1,156	△1,221
貸付金の回収による収入	511	1,008
その他	1,795	2,932
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,385	57,879
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行及び借入れによる収入	161,191	45,569
社債の償還及び借入金の返済による支出	△34,652	△134,859
自己株式の取得による支出	△24	△17
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△42,249	△42,258
その他	△742	△442
財務活動によるキャッシュ・フロー	83,522	△132,007
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25,758	22,300
現金及び現金同等物の期首残高	191,145	183,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,318	21,665
現金及び現金同等物の期末残高	183,705	227,036

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に医療用医薬品及び一般用医薬品の研究開発・生産・販売を基礎とした経営単位ごとのセグメントから構成されており、「第一三共グループ」「ランバクシーグループ」の2つを報告セグメントとしております。

「第一三共グループ」：当社並びに第一三共Inc.及び第一三共ヨーロッパGmbH等の子会社が医療用医薬品及び一般用医薬品の事業活動を展開しております。

「ランバクシーグループ」：ランバクシー・ラボラトリーズLtd.を中核とするランバクシーグループが、医療用医薬品及び一般用医薬品の事業活動を展開しております。

前第3四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)

(単位：百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計	調整	要約四半期 連結財務諸表
外部顧客からの売上収益	672,690	132,841	805,532	—	805,532
セグメント間の売上収益	1,149	1,137	2,286	△2,286	—
計	673,839	133,979	807,819	△2,286	805,532
セグメント利益 (税引前四半期利益)	107,432	△13,708	93,723	△58	93,665

(注) セグメント利益の調整額には、取得原価配分額の償却、セグメント間取引消去等が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)

(単位：百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計	調整	要約四半期 連結財務諸表
外部顧客からの売上収益	693,090	145,077	838,168	—	838,168
セグメント間の売上収益	1,307	1,495	2,802	△2,802	—
計	694,397	146,572	840,970	△2,802	838,168
セグメント利益 (税引前四半期利益)	105,767	3,126	108,893	△1,968	106,924

(注) セグメント利益の調整額には、取得原価配分額の償却、セグメント間取引消去等が含まれております。